

# 新人看護職員研修だより

公立甲賀病院 看護部 教育委員会 新人看護職員研修担当

2013/12/01

第5号

【平成25年度、新人看護職員研修後半の研修風景や学びお伝えします。】

## 宿泊研修に参加した新人さんの声・・・

2013.9.12 ~ 9.13      ダイヤモンド滋賀にて



★ 今年度は、院外からも研修に参加して頂きました。



## 宿泊研修を終えて

甲南病院 3A病棟 T・K

同じ病院からの参加者が少なく不安はありましたが、研修中のレクリエーションで、甲賀病院の方と話す機会が増え、少しずつですが楽しむことができました。病院から外に出るため、仕事を忘れて過ごす時間が作れました。また、白衣を脱ぎ私服になることで、思っていることを素直に話すことができた気がします。普段からどのような学習をしているのか、どのような悩みがあるのか、将来どんな分野で働きたいのか、など話すことができました。今まで、仕事が終わってから学習する時間が旨く取れず、自分のやり方が悪いのかと思っていましたが、他の方も同じでなかなか学習時間が取れないことがわかりました。基本的なこともすぐ忘れてしまっているため、定期的に学習をしないといけないことも再認識でき、もっと頑張らないといけないと、お互い鼓舞できたと思います。普段は、自分の周りしかわからないため、今回のような研修があると、視野が広がり今の自分を客観的に見ることができました。

\* 研修室からの眺め……自然満喫です。





## 宿泊研修を終えて

公立甲賀病院 2階東病棟 J・H

今回の研修に参加し、入職してからの自分を振り返ることで現在の自分の問題点に気づき、解決策を見出すことができました。また、自分ひとりで振り返るのではなく、同期の仲間と共に語り、思いを共有することで不安の軽減やストレス発散につながりました。今回は、研修という形で時間を過ごし、心身と向き合いリフレッシュすることができました。しかし、新たに頑張ろうと、前向きに仕事に取り組むためには、自分自身で時間を持ちストレスを上手く発散していく必要があると思います。そして常に原点に立ち戻り自分の思い描く看護は出来ているのか、時間に流されてケアや言葉使いが雑になっていないか、患者さんと向き合えているのかなど基本に戻り振り返り、日々成長していく必要があると思いました。専門職としての責任と自覚を持ち看護師が起こすすべての行動は、患者さんに影響を及ぼすということを忘れず、これからも頑張っていきたいと思います。



- ・とても楽しい研修でした。
- ・リフレッシュできた。
- ・自分の課題を見直すことができました。
- ・同期と悩みや不安を共有できた。 (新人さんの声)



## 急変時の看護 研修

\* 事例からの学び

2013. 11. 20



急変時の対応は新人にはまだまだ難しい・・・日夜、勉強中です。



指導者さんの模範演技、勉強になります・・・。



## 新入看護職員研修を終えて

リハビリテーション課 作業療法士 M・T

今回、看護研修を経験し、医療従事者としての接遇・心構え・技術など多くのことを学びました。中でも、特に印象に残っているのは吸引実習です。2010年よりPT・OT・STの喀痰吸引が認められるようになりましたが、実際に療法士が喀痰吸引を行う病院・施設は少なく学ぶ機会もほとんどありませんでした。そのため、吸引について初めて学ぶ内容ばかりでした。個々に指導して下さったおかげで非常に勉強になりました。また、多職種との関わりの場ともなりました。それがきっかけで、研修を通じて知り合った看護師さんなどと連携がとりやすく、日々の業務が円滑に進められるようになりました。今回の研修で得たことを生かして、日々成長していきたいと思えます。



## ご指導をいただいた先生からのメッセージ

循環器内科医師 T・O

「急変時の対応で、一番大切なことはなんですか？」こう聞かれたら、あなたはへと答えますか？

「知識と技術が必要、人とモノを集める、大きな声で助けを呼ぶ、早期除細動・胸骨圧迫を絶え間なく続けること」など答えはたくさん出てきそうです。何のことかわからない人は、講習の復習をしっかりとしてください。

ちなみに、私は「気合と根性」と答えます。当たり前のことですが、絶対に『知識と技術』は必要です。それは間違いありませんが、目の前の急変した人を見て、心停止と判断し、また、呼吸停止と判断し、いや、心臓は動いていると判断する。その上で胸骨圧迫を開始する……。一人では、大変です。今はまだ誰かに指示され動いているのかもしれませんが、自分ひとりしかいなければ、自分が覚悟を決め、胸を押すことを始めなければ目の前の命は失われます。そうしないために、覚悟を決め手を尽くす、これが医療に関わる者の最低限のエチケットだと思っています。

これからの道のりは長いですが、ひとつ参考にしてください。



\* 皆、がんばりました。

## 教育担当者・実地指導者の方から・・・



### 実地指導者の能力を生かす支援

教育担当者 4階西病棟 A・Y

新人教育を行っていく中で、実地指導者一人が問題を抱え込み、悩む傾向があります。責任感の強さの表れだと考えますが、新人教育は病棟全体で行っていくものであることを最初に伝えていきたいです。スタッフに現在の課題や問題を発信していく手段や新人看護師の長所も同時に伝えていくことを指導していき、実地指導者それぞれの経験年数、指導経験、性格を理解し個性を生かせるような指導ができるよう支援していきたいと考えています。

新人看護師個々の性格に応じて“焦らず、ゆっくり教育すること”が大切であるため、そのことを伝え、実地指導者のモチベーションが下がらないよう声掛けをし、話し合いの場を設けて思いを受け止め、共に新人教育に携わっていききたいと考えています。

### 新人看護師へ伝えたいこと

実地指導者 5階東病棟 K・I

新人看護職員の研修が見直され、ローテーション研修の導入などに伴い、各配属部署での新人看護師の指導に戸惑いを感じています。慣れない環境に適応していけるよう新人の個性、精神状態を観察し良き相談相手となれるよう関わっていきたいと思います。また、声掛けのしやすい雰囲気づくりに心がけ、基礎看護教育で習得した知識、技術、態度を看護実践の場で活用できるよう実践能力の基礎を身につけられるように、根気強く関わり指導していきたいと思います。確かな知識・技術・判断力を身に付け、患者に寄り添い心温まる看護が提供できる看護師になれるよう自らも努力していただきたいと思います。



### 今後の研修予定

1月15日(水) 13:30～17:00

- ・ 夜勤交代制勤務を充実させる  
セルフマネジメント

2月12日(水) 13:30～17:00

- ・ 合同研修 (自己の振り返り)

### 編集後記

現在、新人看護師は休日出勤や夜勤に向けて各自課題を持って努力しています。看護チームの一員として少しずつ成長している新人を今後も応援いたします。指導者は、経験が広がった新人に対する期待も過大になりがちですが、新人の考えや思いを大切にされた指導にご協力をよろしく申し上げます。

担当：小寄伊都子・田中有加吏・小林千恵子